

日立総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究名称 (倫理審査番号)	再発高リスク消化管間質腫瘍 (GIST) に対する完全切除後の治療に関する研究 (2020-20)
当院の研究責任者 (所属)	酒向 晃弘 (副院長・外科主任医長)
研究期間	2020年6月30日～2026年3月31日
本研究の目的・意義	STAR ReGISTryに登録された再発高リスク消化管間質腫瘍 (GIST) を有する患者の追跡調査を行い、長期経過観察期間における予後と治療成績を明確化する研究です。 術後補助化学療法が導入された今日では、再発高リスク消化管間質腫瘍 (GIST) 患者の手術後の全生存期間は5年を遙かに超えることが示唆されています。従って、STAR ReGISTry研究の追跡調査を行うことによって、再発高リスク消化管間質腫瘍 (GIST) 患者の予後と治療成績の明確化が可能になります。このような精度管理された一般化可能性が高い臨床情報を収集したレジストリ研究の追跡調査することにより、実施診療における治療選択の意思決定や国内・アジア発の診療ガイドラインの拡充、そして再発高リスク消化管間質腫瘍 (GIST) を有する患者のケアの向上に資すると期待できます。
研究方法	当院で、2012年12月～2015年12月までに STAR ReGISTry 研究に適格例として登録された患者で収集したデータを施設の診療録に存在する既存情報を用いて追跡調査を行う多施設共同後方視的研究です。
試料/情報の他研究 機関への提供および 提供方法	共同研究の代表施設である国立がん研究センター中央病院に対し、匿名化した研究情報を提供いたします。
個人情報の取り扱い	研究で使用する情報は全て匿名化されております。 また、下記「お問い合わせ先」に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。尚、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	この研究は、国立がん研究センター研究開発費によって部分的に研究運営が賄われる為、特定の企業からの資金提供は受けておりません。また、あなたの治療方針を変えてしまったり、研究の公正さを損なったりすることはありません。
お問い合わせ先	責任者：酒向 晃弘 (副院長・外科主任医長) TEL：0294-23-1111